

## 1 事業の目的

令和5年8月に産学官が連携し、若者がXRの活用を通してものごとを生み出す面白さややりたいことを実現する拠点として立ち上げた「ヤマガタリアルメタバーズ研究所」を運営するとともに、当研究所の活動を、県が実施する「XRビジネス創出事業」で展開する各種セミナー等と連動させながら、県民のXRに対する関心の向上、デジタル人材の育成、企業におけるXR技術導入機運の醸成を図っていくものとする。

## 2 委託業務の内容

事業の目的を達成するため、以下の業務を委託する。

### (1) 「ヤマガタリアルメタバーズ研究所」の運営

#### ① XRビジネス創出事業の総合的な情報発信

- ヤマガタリアルメタバーズ研究所の活動、関連イベント、事業成果物等の発信
- SNS、ホームページ、プレスリリース等を活用した広報活動の実施

#### ② ホームページの運営管理

- コンテンツ管理、掲載情報の更新、問い合わせ対応
- セキュリティ対策の実施、サーバー管理
- ホームページについては、令和6年度の「ヤマガタリアルメタバーズ研究所運営業務委託」において作成したデータを引き継ぐこと

#### ③ 会員募集・会員管理

- 会員登録の受付、管理
- 会員向け情報の提供
- 会員増加に向けたPR活動の実施

### (2) 「ヤマガタリアルメタバーズ研究所」の活動

#### ① 県内各高校等に出向いてのXR体験会の実施

- 体験会会場の選定、連絡調整
- 県内各高校等でのXR技術の紹介、体験機会の提供
- 必要な機材の準備、指導員の派遣、参加者管理（なお、HMDについては県所有のMeta quest 3 / 6台を使用することが可能）
- 高校での体験会については、県内4ブロックにおいて、少なくとも各1校で開催すること

- ② 山形大学VR部と連携したXRイベントの実施
  - 学生、一般の方を対象としたXR技術理解が促進されるイベントを開催
  - イベント企画、講師等の選定・手配、当日の運営
  - 参加者の募集、管理
  - イベントの開催にあたっては、山形大学VR部と連携すること
- ③ 企業向けXRセミナーの開催
  - 県内企業を対象としたXR技術の導入や活用事例を紹介するセミナーを開催
  - 企業ニーズ把握、講師選定・手配、当日の運営
  - 参加者の募集、管理
  - 開催回数は3回以上とし、原則として「スタートアップステーション・ジョージ山形」を会場とすること

### (3) 委託業務のプロジェクト推進等に関する業務

- ① 「XRビジネス創出事業」に関わる全事業者が参加するプロジェクト定例会を週1回開催する
- ② 定例会においては、スケジュール管理及び各事業者等のアクションアイテム管理を行う

### (4) その他

県が実施する他のXRビジネス創出関連事業との連携のもと、委託業務を実施すること

## 3 KPIの設定

業務の遂行にあたり、2(1)の③、(2)の①、②、③、について、事業効果を示すための具体的な数値目標を1つずつ設定すること。

## 4 委託業務の対象経費

委託業務の対象経費は、以下の表に示す経費とする。

### (1) 人件費

報酬・給与、手当、福利厚生費（法定福利費、健康診断料及び福利環境整備費をいう）

## (2) 運営費

謝金、旅費、借料・損料、通信運搬費、会議費、資料作成費、消耗品費、委託費、印刷製本費、雑役務費、資料購入費、広告料、通信回線使用料（インターネットプロバイダー契約料及び接続料を含む）、事務機器リース料等

## 5 成果品

- (1) ヤマガタリアルメタバース研究所会員名簿
- (2) 年間業務報告書（活動実績、KPI 評価）

## 6 特記事項

- (1) 受注者は、善良なる管理者の注意をもって処理し、その事業目的を達成するために効率的に運営すること。受注者は、事故や運営上の課題などが発生した場合は、速やかに県に報告すること。
- (2) 受注者は、この事業に係る苦情等について、責任をもって対応するものとする。
- (3) 本事業の関係書類等を整備保管し、必要な書類の提出や実地検査等に際しては、協力すること。

## 7 その他

この仕様書に疑義が生じたとき、またはこの仕様書に定めのない事項が生じたときは、その都度、県と協議するものとする。